

いつか大鷹ラーメンの餃子を
埼玉県を代表する名物餃子に!

大鷹ラーメン



昭和53年創業。
和光市民に
すっかり馴染みの
「大鷹ラーメン」



▲自慢の新作「丸鶏醤油らーめん」。
あっさりしつつも深いコクが自慢

▶スタミナ満点の「メガ鷹らーめん」。
胃袋に自信のある方はぜひ!



▲小麦粉から豚肉まで、すべて国産の
素材にこだわった「三元豚餃子」



▲週3日も設けられた
餃子の特売日。まとめ買いは月・水・日がお得!



【大鷹ラーメン】和光市南1-10-19 ☎466-1388
営業時間/11:00~22:00 定休日/無休

大鷹ラーメンからのサービス券

7月中、種の大盛無料 or 餃子100円引きのいずれかをサービスします。この券を切り取り、ご精算時にスタッフまでお渡しください!
キリトリ



広々とした店内はテーブル席も多いため
家族連れにもおすすめ!

コロナ禍に負けることなく、元気に明るく頑張る和光市の商店や事業所。今回は、昭和53年の創業以来、常に進化し続けるラーメン屋さん「大鷹ラーメン」のご紹介です。

創業時の店名は「札幌ラーメン古丹」。当時、関東でも人気に火がつき始めていた札幌ラーメンの専門店でした。古丹の由来は、自社で経営する製麺所の名前。自家製の麺を提供するスタイルは、今も昔も変わりません。その後、先代の代表(現会長)が九州ラーメンを学びメニューのバリエーションを拡大。現在の大鷹ラーメンの礎ができました。

赤鷹ラーメン、白鷹ラーメンといった不動の人気メニューを生み出してから進化を止めない大鷹ラーメン。現社長の増谷さんが「自信作です!」と胸を張る丸鶏醤油らーめん、かの有名な系統を彷彿とさせるメガ鷹らーめんなど、次々に新しいメニューを開発します。目新しさだけではなく、味と品質をより進化させることこそ、大鷹ラーメンのこだわり。

「麺や餃子に使用する小麦粉には埼玉県産の小麦を使用し、三元豚餃子の豚肉も国産100%にこだわっています。こんな時代だからこそ、より美味しく、

より安全・安心の料理をおもてなししたいですからね」と増谷社長。驚くべきは、食材のコストが上がったにも関わらず料金は据え置き。その企業努力には頭が下がります。そんな増谷社長には、夢に描いているビジョンがあります。

「当店自慢の三元豚餃子を、埼玉県を代表する名物餃子に育て上げられたらなど。そのときは“古丹の餃子”を看板に掲げ、全国にお店を展開したいと考えています。壮大な夢ですが、必ず叶えたいですね!」

そんな三元豚餃子を「まずは地元の方々に味わっていただきたい」と語る増谷社長から、こんなメッセージをいただきました。「当店は昔から地域密着・お客様密着で営業してきました。その姿勢はこれからも変わりません。お子様連れからお一人様まで、ぜひお気軽にご来店ください!」。



▲大鷹ラーメンの代表取締役、増谷 和紀さん

今回は、演奏家の講師が教えるチェロ・コントラバス専門の音楽教室『WAKO BASS SCHOOL』です!

今回の取材の様子を動画で公開します。ぜひご覧ください (YouTube) ▶

しばさき市長の 一步前へ! ⑩



理化学研究所

和光市と聞いて思い浮かぶもの…いくつかあると思いますが、その中の1つが「理化学研究所(以下、理研)」ではないでしょうか。

先日、理研の視察に行っていました。和光地区と呼ばれる広い敷地内には、昨年竣工の新本部棟など10以上の建物があり、13の研究センターの下で様々な研究が行われています。当日は、ニホニウムを発見した「仁科加速器科学センター」で加速器の見学をさせていただき、「脳神経科学研究センター」で子ども虐待を防ぐ脳科学の研究について、ご説明をいただきました。理研の歴史を辿ることができる「理研ギャラリー」もご案内いただき、高峰 譲吉、渋沢 栄一をはじめ功労者の業績を知ることができました。実際に研究をされている方にお話を伺うと、典型的な文系の私でも、科学に対する興味が湧いてきて、もっと知りたくなりました!一緒に回った教育長も同様のご意見で、小中学生が実際に見学をすれば、理科離れを防ぐ一因になるのではないかとおっしゃっていました。

地元にもこのような施設があることは、誇りです。まだ理研を体験されていない方は、一般公開などの機会にぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



▲仁科加速器科学センター ▲脳神経科学研究センター ▲理研ギャラリー

和光短歌同好会

苦を超えて自由の幸せ描きつゝ
戦場の中生きる難民
めじろきて花をついばむ姿見ゆ
生きものたちの我が家の楽園
やわらかに月の光につつまれて
幼子イエスは微睡みてゐる
「短歌会」閉会すると電話あり
何故かホッとす土曜の夜よ
春閑今を盛りと新緑たちが
小鳥の歌声吸い取るように

武蔵 建治
中島美代子
鈴木 義弘
高嶋 英子
川上 凱二

和光俳句会 藤井寿江子選

初蝉や梢に残る雨雫
若きらの揃ひの浴衣さざめけり
僧堂に警策の音緑さす
名月をひとそれぞれに賜はりぬ
雨音を包み奏する手毬花

阿部島春美
富田 北斗
佐藤 勇
垣淵みづほ
竹内 節

川柳吐露の会 高鶴礼子選

ほころびがあるから縫える生きられる
寄せ植えはまっぴらごめん 枯れてやる
運の良さ悪さ包めて返し縫
生きていくために作っていく笑顔
頬張った御握り そこに亡母がいた

山内志津子
高沖 和恵
矢吹 香奈
山口 和子
系子

川柳ひまわり会 高鶴礼子選

どうしようほつれはじめたお大切
逸れ雲虚ろに今日という命
少しだけ寄り道してる足の脛
愛着のほつれを縫ってハイ私
二の腕のあまりの細さ大笑い

山上野里子
坂本 幸子
田上八重子
南 陽子
真坂としこ